

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 18 日

岩手県知事
達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県一関市赤荻字笹谷249番地1
氏 名 有限会社 山一木材
代表取締役 山田一宝
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0191-34-9115

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社山一木材
事業場の所在地	岩手県一関市赤荻字笹谷249番地1
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	林業
② 事業の規模	前年度売上高 4億円
③ 従業員数	24名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	伐採工→木くず発生→委託処分

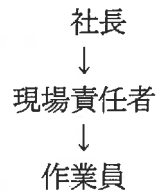
(日本産業規格



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	2.361.55 t	t
	（これまでに実施した取組） 伐採工事により発生した木くずについては、分別保管を徹底し、許可を有する産業廃棄物処理業者へ適正に委託処理を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排 出 量	500 t	t
	（今後実施する予定の取組） 前年度は公共工事に伴い多量の木くずが発生したが、当年度は同様の工事受注予定がないため発生を見込んでない。今後発生した場合は適正な分別及び委託処理を実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 木くずについて、土砂、金属類その他異物との混合を防止し、分別保管を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き木くずの分別を徹底し、土砂、金属類その他異物との混合防止に努める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7月 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全 処 理 委 託 量	2. 361. 55 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	2. 361. 55 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	2. 361. 55 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 発生した木くずについては、優良認定を受けた産業廃棄物処理業者へ委託し再資源化を実施した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	500 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	500 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物が発生した場合は、優良認定を受けた産業廃棄物処理業者 へ委託し、再資源化を推進する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 合計)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

有償物量	
不要物等発生量	排出量
	① 2,361,550 t 500

数値は、
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	2,361,550 t 500
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t 0
⑤自ら熱回収を行った量	0 t 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t 0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t 0
⑩全処理委託量	2,361,550 t 500
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,361,550 t 500
⑫再生利用業者への処理委託量	2,361,550 t 500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t 0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t 0

自ら直接再生利用する量 ② 0 t 0	自ら中間処理した後の再生利用する量 ⑧ 0 t 0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 ③ 0 t 0	自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分する量 ⑨ 0 t 0
自ら中間処理する量 ④ 0 t 0	自ら中間処理した後の残さ ⑥ 0 t 0
④のうち熱回収を行う量 ⑤ 0 t 0	④のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬ 0 t 0
④のうち熱回収を行う量 ⑦ 0 t 0	④のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0 t 0
直接及び自ら中間処理した後の委託処理量 ⑩ 2,361,550 t 500	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 2,361,550 t 500
⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫ 2,361,550 t 500	

(産業廃棄物の種類: 木くず)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用する量
0 t
0 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量
0 t
0 t

排出量
① 2,361.550 t
500 t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量
0 t
0 t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量
0 t
0 t

数値は、
上段:前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値
① 排出量	2,361.550 t	500 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t	0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0 t	0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t
⑩ 全処理委託量	2,361.55 t	500 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2,361.55 t	500 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2,361.55 t	500 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ
0 t
0 t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量
0 t
0 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
2,361.550 t
500 t

④のうち熱回収を行う量
0 t
0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0 t
0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0 t
0 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0 t
0 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
2,361.55 t
500 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0 t
0 t